

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 国語

科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 高等学校 標準論理国語（第一学習社）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 基礎的言語能力（読む・書く・話す・聞く）およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上
- 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成
- 【学びに向かう力、人間性等】 自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成／他者に対する共感力や感受性の育成・向上

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・論理的な文章や実用的な文章に数多く触れることで基礎的な読解力を向上させる ・「書く・話す・聞く」など言語表現にかかわる技能の向上	・論理的な文章の構造を把握し、論理や文意を適切に把握する力 ・問われているテーマについて自分の考えを持ち、それを適切に表現できる力、および聞く力	・日常的に自分たちが触れているものよりも長め、難しめの文章を意欲的に読んでいこうとする姿勢 ・扱われているテーマについて自らより深く知り、考えていける力

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 論理的な文章に触れる① 【知識及び技能】 「比較して考察する」論理 【思考力、判断力、表現力等】 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性について吟味する 【学びに向かう力、人間性等】 読書の意義と効用を理解する	教材 評論『進化が導き出した答え』 指導内容 評論文の読み方／比較文化論 ／段落構成と論理構造 端末活用 学びのふりかえりシート作成		○	○	・文中の漢字の読みや語句の意味、筆者の主張と論理を正確に理解できている ・知識に向かう姿勢や価値観の違いがあることを理解し、考察を広げられている ・「進化」に対する定義をどのように評価し、批判するか話し合いを試みようとしている	○	○	○	6
	単元 論理的な文章に触れる② 【知識及び技能】 現代的コミュニケーションと自我の関わりについて知る 【思考力、判断力、表現力等】 自分という存在について考える 【学びに向かう力、人間性等】 自他の関係の在り方を考える	教材 評論『情けは人の……』 指導内容 評論文の読み方／現代的なコミュニケーションと自我の関係／段落構成と論理展開 端末活用 学びのふりかえりシート作成		○	○	・文中の漢字の読みや語句の意味を正確に理解できている ・環境やツールが変わっても、言語をめぐる問題は常に自分たちの周りにあるということを理解できている ・日本語の「あはれ」の意味についてどの時代にも共通することを理解する。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	単元 評論を読んで考える① 【知識及び技能】 現代言語学の基礎について知る 【思考力、判断力、表現力等】 表現様式の変化や社会との関わりを言語論から読み解き考える 【学びに向かう力、人間性等】 言語全般に興味を広げる	教材 評論『バラと通貨はどう違う？』 指導内容 「モノ」と「カネ」の対比を理解する 端末活用 教材に準じ、端末上で相互に例を出し合ってみる 学びのふりかえりシート作成		○	○	・文中の漢字の読みや語句の意味、筆者の主張と論理を正確に理解できている ・「バラ」が「モノ」の具体例をと理解し、物質論の理解を深める。 ・段落構成が平易なため、構図を理解し、さらに有形と無形に対する表現力の向上をはかる	○	○	○	7
	単元 国語表現の基礎① 【知識及び技能】 表記等、表現の基礎事項の確認 【思考力、判断力、表現力等】 他者に伝えるための表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 「他者のために伝える」という基本姿勢を学ぶ	副教材「小論文」 指導内容 仮名遣いや送り仮名の確認／原稿用紙の使い方の確認／簡単な伝達文の作成 端末活用 基礎的なアプリの使いかた 学びのふりかえりシート作成		○	○	・中学校までに学んだ表現の基礎事項の上に他者が受け取りやすい表現技法について理解している。また、アプリを使用し、プレゼンテーション用スライドが作れる ・「読む人を意識した文章作成」の意識を持って表現できる ・授業以外の伝達場面でも、学んだことを生かそうとしている	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1	
	単元 コミュニケーション技術 【知識及び技能】 調査に基づきプレゼンを行う 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンを行いそれを傾聴する 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメートのプレゼンを傾聴する／学びを言語化する	タスク プレゼンテーション 指導内容 夏季休業課題として課した調査と発表を全員分行う／傾聴スキルについて指導する 端末活用 端末を用いてプレゼンを行う 学びのふりかえりシート作成		○	○	・アプリを用いてプレゼンが行える ・クラスメートの発表を傾聴できる ・調査研究→発表という一連の作業での自分の学びを言語化して表現できる ・学んだことを学校生活の他の場面でも生かそうとしている	○	○	○	6
	単元 評論を読んで考える② 【知識及び技能】 他人の中での自己という概念を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の意見に対して自分の意見を持つ 【学びに向かう力、人間性等】 社会に対する問題意識を持つ	教材 評論『共同性の幻想』 指導内容 「共同体」についての評論を読む 端末活用 例示された言説を実際に読む 学びのふりかえりシート作成		○	○	・文中の漢字の読みや語句の意味、筆者の主張と論理を正確に理解できている ・「自他の存在」といった概念を把握し、筆者の問題意識を理解できる ・現代社会のさまざまな課題に関心を持ち、問題意識を持って自ら多様な社会問題についての式を得ようとする	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語

科目 古典探究

教科： 国語

科目： 古典探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 高等学校 精選 古典探究（第一学習社）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 説話（一） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 説話の特質の理解を深める。	教材 『古今著聞集』 指導内容 説話について知る/活用の復習 端末活用 学びのふりかえりシート作成		○	○	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。	○	○	○	8
	単元 故事・寓話 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を説明する。	教材 推敲（唐詩紀事） 指導内容 書き下し文にする/内容を理解する 端末活用 古典導入教材（スタディサプリ） 学びのふりかえりシート作成		○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	単元 随筆（一） 【知識及び技能】 古文の読解のための技能習得に進む。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に現れる人間観に触れる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に古文学習意欲をもつ。	教材 『徒然草』、『方丈記』 指導内容 音読/内容理解/文法事項の学習 端末活用 文学史的な知識を検索してまとめる 学びのふりかえりシート作成		○	○	・争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○	○	○	11
	単元 物語（一） 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語の内容を捉えている。	教材 『伊勢物語』『大和物語』 指導内容 音読/内容理解/文法事項/隠喩やイメージ・モチーフを読み取る 端末活用 アプリを用い、受け取りや読後感などの意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・初歩的な文法事項（品詞の種類など）について理解できる ・抽象的、幻想的な作品世界を理解できる ・読み取った内容をもとに、自分の受け取りを言語化できる ・より一層文学的な表現に興味を持つ	○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
2 学 期	単元 随筆（二） 【知識及び技能】 より正確に古文を読む。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆に表される筆者の感性や考え方を 感じ取り、自分の考えを述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている。	教材 『枕草子』 指導内容 音読/内容理解/文法事項（用言）/ 筆者の価値観や考え方、感性 端末活用 文法学習（スタディサプリ）/読後の 意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項（助動詞）について理解できる ・当時の感覚や価値観と、現代の価値観とを比較しながら、共通項や違いについてまとめ、自分の考えを述べられる ・古典作品のユーモアや美意識にある現代との共通性を知り、関心を深めようとしている	○	○	○	9
	単元 物語（二） 【知識及び技能】 より正確に古文を読む。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の感じ方をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている。	教材 『大鏡』 指導内容 音読/内容理解/文法事項/時代背景 の理解 端末活用 読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
単元 物語（二） 【知識及び技能】 より正確に古文を読む。 【思考力、判断力、表現力等】	教材 『源氏物語』 指導内容 音読/内容理解/和歌の理解/文法事 項/時代背景の理解				・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項（助動詞）について理解できる ・当時の感覚や価値観と、現代の価値観とを比較し					

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A B E H 組

使用教科書：（ 詳説日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
先史・古代から近世はじめまでの日本史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。	学習した日本の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。	学習した日本の歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立にいたる時期の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 導入：日本史学習について 文化のはじまり（旧石器時代・縄文文化） 農耕社会の成立（弥生文化・小国の分立・邪馬台国） 	【知識・技能】 旧石器時代～弥生時代の歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
	ヤマト朝廷と古墳文化の展開、飛鳥朝廷と仏教文化の興隆について、歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 古墳文化の展開（古墳の出現と大和政権・東アジア諸国との交渉と大陸文化受容・ヤマト政権と政治制度） 飛鳥の朝廷（東アジアの動向・飛鳥朝廷と文化） 農耕社会の成立（弥生文化・小国の分立・邪馬台国） 	【知識・技能】 ヤマト朝廷と古墳文化・飛鳥朝廷と仏教文化の歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	大化改新から壬申の乱までの政治の流れと律令制度、平城京と奈良時代の政治、白鳳・天平文化について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家への道（大化改新・律令制度と官僚制・民衆の負担） 平城京の時代（遣唐使・平城京・藤原氏の進出と政界の動揺） 律令国家の文化（白鳳文化・天平文化） 	【知識・技能】 大化改新から壬申の乱までの政治の流れと律令制度、平城京と奈良時代の政治、白鳳・天平文の歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
期末考査			○	○		1	
2 学 期	平安初期の政治改革、地方と貴族社会の変容、平安新仏教と弘仁貞観文化、撰関政治と国風文化について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家の変容（平安遷都・蝦夷との闘い・平安初期の政治改革・地方と貴族社会の変容・唐風文化と平安仏教） 貴族社会の展開（藤原北家の発展・撰関政治・国際関係の変化） 国風文化（国文学の発達・浄土の信仰・国風美術） 	【知識・技能】 平安初期の政治改革、地方と貴族社会の変容、平安新仏教と弘仁貞観文化、撰関政治と国風文化について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	地方政治の混乱と武士の台頭、荘園制の発達、平将門・藤原純友の乱について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 地方政治の展開と武士（荘園の発達・地方の反乱と武士の成長） 	【知識・技能】 地方政治の混乱と武士の台頭、荘園制の発達、平将門・藤原純友の乱について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
中間考査			○	○		1	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当

	学習内容	到達目標	知識	理解	応用	時数	
2 学 期	院政と武士の躍進、平氏政権、平安末期の文化、鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 院政と平氏政権 (院政期の社会・平氏政権・院政期の文化) 鎌倉幕府の成立 (源平の争乱・鎌倉幕府) 武士の社会 (承久の乱と執権政治・武士の生活) 	【知識・技能】 院政と武士の躍進、平氏政権、平安末期の文化、鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	モンゴルの来襲と幕府の衰退、鎌倉文化、室町幕府の成立について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> モンゴルの来襲と幕府の衰退 (モンゴル来襲・琉球とアイヌの動き・幕府の衰退) 鎌倉文化 (鎌倉仏教・中世文学の起り・美術の新傾向) 室町幕府の成立 (鎌倉幕府の滅亡・建武の新政・南北朝の争乱・室町幕府・東アジアの交易) 	【知識・技能】 モンゴルの来襲と幕府の衰退、鎌倉文化、室町幕府の成立について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学 期	幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化、戦国大名の登場について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 幕府の衰退と庶民の台頭 (惣村の形成・応仁の乱・農業と商工業の発達) 室町文化 (動乱期の文化・室町文化の成立と展開・庶民文化と新仏教) 戦国大名の登場 (戦国大名と分国支配・都市の発展と町衆) 	【知識・技能】 幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化、戦国大名の登場について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
	織豊政権、桃山文化について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権 (鉄砲伝来と南蛮貿易、キリスト教・織田政権・豊臣秀吉の全国統一・対外政策と侵略戦争) 桃山文化 (桃山文化と美術・芸能の新展開・南蛮文化) 	【知識・技能】 幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化、戦国大名の登場について歴史の流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A B C D F G 組

使用教科書：（ 詳説世界史探究 山川出版社 ）

- 教科 地理歴史 の目標：
- 【知識及び技能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に取り組み態度を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界史へのまなざし1 【知識及び技能】 自然環境と人類の関わりを概要を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 人類の誕生を地球46億年の歴史のなか位置づけて表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 人類の誕生を意欲的に探究し、自然環境の変化と世界史の関係性を考察させる。	・問い 人類の誕生を地球46億年の歴史のなか位置づけたら、どのようなことがわかるだろうか。 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明の歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明の歴史的特質を主体的に追究させる。	・問い 各地の古代文明はどのような特徴をもっていたのだろうか。また、それらに共通する特質は何だろうか。 ・指導事項 ①文明の誕生 ②古代オリエント文明とその周辺 ③南アジアの古代文明 ④中国の古代文明 南北アメリカの文明 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 各地域の古代文明の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明の歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
1 学期 単元 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究させ、問いに対して既習事項を基に積極的に取り組ませる。	・問い 2つの世界はそれぞれどのような特徴をもつ社会を形成し、またどのような関係にあったのだろうか。 ・指導事項 ①中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 ②秦・漢帝国 ③中国の動乱と変容 ④東アジア文化圏の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
単元 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 南アジア、東南アジア世界の多様性を生み出した地理的環境について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアの特質について考察し、自分の言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 東南アジアの歴史的特質を主体的に追究させ、問いに対して既習事項を基に積極的に取り組ませる。	・問い 南アジアで生まれた宗教はどのように展開し、また、社会にどのような影響を与えたのだろうか。 ・指導事項 ①仏教の成立と南アジアの統一国家 ②インドの古典文化とヒンドゥー教の定着 ③東南アジア世界の形成と展開 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し、両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東南アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
単元 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】	・問い 西アジアと地中海周辺に現れた諸国家は、どのような特徴をもっていたのだろうか。 ・指導事項 ①イラン諸国家の興亡とイラン文明 ②ギリシア人の都市国家 ③ローマと地中海支配 ④キリスト教の成立と発展	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海地域周辺の歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見	○	○	○	8

<p>究しくみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組ませる。</p>		<p>察しく、自分の言葉で表現している。 ・オスマン帝国とサブアヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 ・ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ムガル帝国、オスマン帝国、清について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		<p>1 合計 105</p>

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史

科目: 地理総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ H 組

使用教科書: (地理総合(東京書籍)、新詳高等地図(帝国書院))

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】

地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見をふまえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題に主体的に取り組む態度を養う。

科目 地理総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、地球的課題とそれに対する取組、防災への地域的取組を理解するとともに、多様な地図や地理情報システム(GIS)を用いて、諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調査し、まとめる技能を身に付けることができる。	地理的事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などの地理的見方・考え方に着目し、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けることができる。	地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 緯度・経度、時差のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 緯度の違いや時差が私たちの生活に与える影響について考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結び付いているのだろうか。 ・指導事項 緯度・経度、時差とその計算 一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		7
	単元 地図の種類と役割 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの種類や役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地理情報の表現及び読み取りを通して、その特徴について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 地図や地理情報システムにはどのような役割や種類があるのだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。 ・指導事項 図法、地形図、GIS 一人1台端末の活用 GISの活用・地図の作成	【知識・技能】 地図や地理情報システムの種類や役割、主な活用場面について理解している。 【思考・判断・表現】 様々な地図から地理情報を読み取り、多面的多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 現代世界の国家と領域 【知識・技能】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について理解する。 【思考・判断・表現】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、多面的・多角的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのだろうか。 ・指導事項 領土、主権、日本の領土、領土問題 一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について理解している。 【思考・判断・表現】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	単元 世界の地形と人々 【知識及び技能】 様々な地形の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な地形と人々の生活とのかかわりについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・指導事項 大地形・小地形 一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 様々な地形の種類とその特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 様々な地形の種類とその特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な地形の種類とその特徴について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 世界の気候と人々 【知識及び技能】 各地の気候とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の気候と人々の生活とのかかわりについて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・指導事項 気温、降水、風、植生、気候区分 一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 各地の気候とその特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 各地の気候とその特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地の気候とその特徴について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元 世界の言語・宗教 【知識及び技能】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について理解する。 【思考・判断・表現】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 言語と宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 ・指導事項 言語、宗教 一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（『高等学校 公共』（第一学習社））

教科 公民 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民
 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりす、
 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、

科目 公共	の目標： 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、判断する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚する人間性を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 【主体的に学習に取り組む態度】 自らを成長させながら、社会の中で生きていくための人生観、世界観ないし価値観の基礎を培うことの重要性を理解させる。	社会に生きる私たち：公共的な空間とは。青年期の心理には、どのような特徴があるのだろうか。「おとな」になるとは 個人の尊厳と自主・自立 多様性と共通性 キャリア形成と自己実現 伝統や文化とのかかわり	【知識・技能】 自らの体験などを振り返り、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解できる。 【思考・判断・表現】 青年期の意味を考えさせることを通して、他者とともに生きる自らの生き方について多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。	○	○	○	4
第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【主体的に学習に取り組む態度】 主張の根底にある考え方の理解をもとに、課題を主体的に追究、解決させる。	人間と社会のあり方についての見方・考え方 実社会の事例から考える～環境保護・生命倫理	【知識・技能】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解できる。 【思考・判断・表現】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理などの実社会の問題を考察し、表現できる。	○	○	○	4
第3章 公共的な空間における基本的原理 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の尊厳が守られるために必要なことについてじぶんにできることは何かを考え、取り組ませる。	公共的な空間を形成するための考え方よりよく生きる行為者として活動するために 人間の尊厳と平等 個人の尊重 民主政治の基本的原理 法の支配	【知識・技能】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解できる。 【思考・判断・表現】 なぜ人間の尊厳が守られることが必要かを考察し、表現できる。	○	○	○	6
中間調査			○	○		1
1 学期 【主体的に学習に取り組む態度】 立憲主義の考え方に基づいて、日本国憲法と現代政治のあり方との関連について主体的に追究させる。	自由・権利と責任・義務 世界のおもな政治体制 日本国憲法に生きる基本原理	【知識・技能】 国のあらゆる法の基盤となる最高法規であるという立憲主義の考え方とその現代的な意味を理解できる。 【思考・判断・表現】 民主主義の問題点について、多数者の専制を考察する活動を通して、多面的・多角的に考察し、表現できる。				
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち第1章 法的な主体となる私たち 【主体的に学習に取り組む態度】 すべての人の基本的人権を守り、確保させようとする態度を身につけさせる。	主題1 法や規範の意義と役割 私たちの生活と法 法と基本的人権 自由・平等と法・規範	【知識・技能】 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解できる。 【思考・判断・表現】 身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考えることができる。	○	○	○	6
【主体的に学習に取り組む態度】 18歳で成年になる意義をふまえて、契約の意味や責任を負うことについて学び、自分にとって必要な契約かを慎重に考えさせる。	法をよりよくかえていくために 主題2 契約と消費者の権利と責任 さまざまな契約と法 消費者の権利と責任	【知識・技能】 契約自由の原則の内容や、契約によって様々な責任が生じることを理解している。 【思考・判断・表現】 契約自由の原則に例外があるのはなぜか、考察できる。	○	○	○	6
【主体的に学習に取り組む態度】 最高裁が「憲法の番人」と呼ばれていることや、国民の権利を守るために三権分立のしくみが採用されていることなどの理解を通して、法の支配を表現するために、公共的な空間をつくる自立的な主体としての自覚をもたせる。	主題3 司法参加の意義 裁判所と人権保障	【知識・技能】 公正な裁判を確保するために、司法権および裁判官の独立が保障されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 公正かつ慎重な裁判をおこなうために、日本の裁判では三審制が採用されていることを考察できる。	○	○	○	5
期末調査			○	○		1
第2章 政治的な主体となる私たち 【主体的に学習に取り組む態度】 民主政治において主権者である国民が積極的に政治に参加することが重要であることが重要であることとを理解し、日本や世界の課題を解決する政策について考察させ、提案させる。	主題4 政治参加と公正な世論の形成 選挙の意義 政治参加と世論形成 国会と立法 内閣と行政の民主化 地方自治と住民の福祉 主題5 国際社会と国家主権 国家と国際法	【知識・技能】 民主政治における選挙の重要性を理解し、やがて主権者として政治参加できる。 【思考・判断・表現】 選挙や多数決では反映されない多様な民意の存在を尊重し、これからの日本に求められる政策を考察し、表現できる。 国会の課題解決に向けて、事実をもとに協働して考察したり、構想したりしたことを論拠をもって表現でき	○	○	○	5

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (理系：数学Ⅱ(数研出版) 文系：新編数学Ⅱ(数研出版))

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象の特徴を表、式、グラフに関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について分析し、解決の過程や結果を考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元 「式と計算」</p> <p>【知識及び技能】 多項式の割り算において、商と余りの関係を確認し、分数式も目的に応じて整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な式も、既習内容を組み合わせるなどして適切に変形できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形できる。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 分数式も分数同様に計算でき、特徴に着目して変形し、展開や因数分解の公式を適用することができる。 【思考・判断・表現】 二項定理について理解し、複雑な式についても、活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 より高次な式の工夫において、よりよい方法を考えようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 「等式と不等式の証明」</p> <p>【知識及び技能】 既習の式において成り立つ式を、証明することの理解を深め、論理的展開ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式・不等式の証明方法を学び、適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的な考え方、をの表現について考察する。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方や階級小数が分数で表現できることに興味を示し、自ら考察しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>定期考査</p>			○	○	○	1
	<p>単元 「複素数と2次方程式の解」</p> <p>【知識及び技能】 2次方程式の解の意味や複素数の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数の性質を基に、2次方程式を解く方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に2次方程式を工夫して活用する力を培う。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>単元 「高次方程式」</p> <p>【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 背理法を利用して命題を証明することができる。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。 【思考・判断・表現】 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○	○	1	
2 学 期	<p>単元 「2次関数とグラフ」</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて2次関数のグラフをかく。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察する。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 平方完成を利用して、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の持つ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとしている。</p>	○	○	○	13
	<p>単元 「2次関数の値の変化」</p> <p>【知識及び技能】 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えを利用して日常生活における具体的な事象を考察する。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 2次関数 $y = a(x-p)^2 + q$ の形に変形して、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>定期考査</p>			○	○	○	1
	<p>単元 「2次方程式と2次不等式」</p> <p>【知識及び技能】 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある具体的な問題を2次不等式で解決できる。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 2次方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数で表される事象の具体例について興味をもち、考察しようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>単元 「三角比」</p> <p>【知識及び技能】 三角比の意味やその基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係などを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 直角三角形の辺の長さを三角比で表す方を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 $\tan\theta$ と直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとしている。</p>	○	○	○	12

	を活用して問題を解決する力を培う。	タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表					
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 「三角形への応用」</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理の意味を理解し利用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正弦（余弦）定理や面積を求める公式を導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」</p> <p>・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 正弦定理、余弦定理を導くことができる。三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理、三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。</p>	○	○	○	15
3 学 期	<p>単元 「データの分析」</p> <p>【知識及び技能】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 手法を選択してデータの分析を行い、事象の特徴を表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主張の妥当性について、実験を通して判断し、批判的に考察する力を養う。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材 「4プロセス 数学Ⅱ」「3Trial 数学Ⅱ」 「練習ドリル 数学Ⅱ」</p> <p>・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表</p>	<p>【知識・技能】 データの代表値、分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、計算して求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							140

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

数学 科目 数学B, 数学C

教科: 数学

科目: 数学B・C

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 B C F 組

使用教科書: 高等学校 数学B(数研出版), 高等学校 数学B(数研出版)

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする力、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする力、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする力。

科目 数学B, 数学C

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【等差数列と等比数列】 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・等差数列・等比数列の仕組みから、一般項やその和を求めることができる。 【思考力】 ・等差数列・等比数列の仕組みから、一般項やその和を考えることができる。 【学びに向かう力】 ・等差数列・等比数列の仕組みに関心をもち、それらを一般項や和の考察に活用しようとする。	○	○	○	8
	【等差数列と等比数列】 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・等差数列・等比数列の仕組みから、一般項やその和を求めることができる。 【思考力】 ・日常・社会の事象を数列として捉え、数列の考えを用いて考察できる。 【学びに向かう力】 ・等差数列・等比数列の仕組みに関心をもち、それらを一般項や和の考察に活用しようとする。	○	○	○	7
	【いろいろな数列】 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・いろいろな数列について、その規則性を見つけ、理解することができる。 ・数列の和をΣ記号を利用して表したり、その計算ができる。 【思考力】 ・数列の和において、Σ記号を利用して考察することができる。 【学びに向かう力】 ・いろいろな数列の規則性に関心をもち、それを一般項や和を求める考察に活用しようとする。	○	○	○	11
	【漸化式と数学的帰納法】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・漸化式の意味や、その仕組みを理解している。 【思考力】 ・漸化式から一般項を導く方法を考えることができる。 【学びに向かう力】 ・漸化式から一般項を導いたり、漸化式や数学的帰納法を事象の考察に活用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	【離散分布】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・離散分布において、その期待値、分散・標準偏差などの意味を理解している。 【思考力】 ・離散分布について、期待値、分散・標準偏差などを用いて、その傾向を的確に表現することができる。 【学びに向かう力】 ・離散分布について、期待値、分散・標準偏差などを用いて分布の傾向を把握し、それらを事象の考察に活用することができる。	○	○	○	9
	【離散分布】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・離散分布について、期待値、分散・標準偏差などを求めることができる。 【思考力】 ・離散分布について、期待値、分散・標準偏差などを用いて、その傾向を的確に表現することができる。 【学びに向かう力】 ・離散分布について、期待値、分散・標準偏差などを用いて分布の傾向を把握し、それらを事象の考察に活用することができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
【統計的な推測】 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・全数調査と標本調査の意味を理解している。 【思考力】 ・統計的な事象の考察に、標本調査を利用する考え方を身につけている。 【学びに向かう力】 ・標本調査について、統計的な事象の考察に活用することができる。	○	○	○	14	
【統計的な推測】 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・標本調査を利用して、標本平均の様子を調べることができる。 【思考力】 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 【学びに向かう力】 ・標本調査について、統計的な事象の考察に活用することができる。	○	○	○	9	

	定期考査			○	○		1
3 学 期	【平面上のベクトル】 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・ベクトルの意味、相当、和、差、実数倍、位置ベクトル、内積、成分表示などを理解する。 【思考力】 ・ベクトルの演算法則を考察する。 ・位置ベクトルを用いて図形やその方程式を代数的に表現し、性質を考察することができる。 【学びに向かう力】 事象を数学的にとらえ、平面図形の問題解決に活用する。 図形問題や直線の方程式をベクトルで表現する数学的な見方を養い、意欲的に学ぼうとしている。	○	○	○	11
	【空間のベクトル】 ベクトルの概念が空間内においても適用できることに関心を示し、平面ベクトルと対比させながら、積極的に空間図形の問題に活用することができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学B」 「練習ドリル 数学B」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識】 ・空間内での座標や位置ベクトルの表現を理解し、線分の分点、距離の公式、ベクトル方程式などの既知の知識を用いて事象の考察をすることができる。 【思考力】 空間および空間座標の表現を理解し、位置ベクトルを用いることで、空間内の直線、平面、球などの図形の性質を代数的に考察し、的確に表現・処理することができる。 【学びに向かう力】 平面ベクトルで学習した内容を拡張し、空間図形の問題解決に活用する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							105

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科： 理科 科目： 化学 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 BCF 組～ 組

使用教科書： （ 化学706 「化学」 数研出版、「アクセスノート化学 新課程版」 実教出版 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を身につける。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身につける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>序章</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学は物質を対象とする学問であること理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活と化学の関わり、化学による物質を探究する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの化学に関して興味関心を深めていく。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質がどのように人間生活に関わり合いを持っているかを理解している。すでに学習している化学基礎との関連をしっかりと理解し、知識を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活について化学的なとらえ方をすることにより、安全で健康的な生活など豊かになっていることに気づき、今後の人間生活と化学との関わりを考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある化学物質が、どんな組成・成分でできているかを、日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。 化学に関連している物質が、人間生活のどの場面で関連しているかを探究することができる。 	○	○	○	3
<p>第1編 物質の状態</p> <p>第1章 固体の構造</p> <p>第2章 物質の状態変化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結晶格子の概念および結晶の構造を理解させる。 物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解させる。 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連させて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明する力を養う。 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる力を養う。 状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする態度を養う 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。 結晶格子の概念および結晶の構造について理解している。 結晶格子の概念について、身近な物質を例にしたり、結晶構造のモデルを用いたりして、特徴を観察する技能を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察することができる。 固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。 状態変化の現象について、粒子の運動と関連づけて探究しようとする。 	○	○	○	12

1 学 期	定期考査						1
	<p>第1編 物質の状態 第3章 気体 第4章 溶液</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体の体積と圧力や温度との関係を理解させる。 ・ 溶液のしくみ、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解させる。 ・ 身近な現象を通して溶媒と溶液の違いを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができるような力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする力を養う。 ・ 気体が示す様々な性質に着目し、探究しようとする力を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 ・ 溶液の性質の法則性、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身につけている。 ・ 実験においては、沸点や融点の測定には減圧下や加圧下での沸騰実験などにも助け、実験の測定結果から量的関係を的確に表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 ・ 気体が示す様々な性質に着目し、探究しようとする。 				
	<p>第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解させる。 ・ 外部から加えられた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。その反応に関与した変化量と電気量との関係を理解させる。 ・ 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする力を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。 ・ ヘスの法則について理解している。 ・ 化学発光や生物発光、光化学反応について理解している。 ・ 化学電池の仕組みについて理解している。 ・ 外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こること、また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあることを意欲的に探究・考察しようとする。 				18

定期考査			○	○			1
<p>第2章 物質の変化と平衡</p> <p>第3章 化学反応の速さとしくみ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応が温度・濃度・触媒の影響などを受けることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする態度を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応が温度・濃度・触媒の影響などを受けることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。 	○	○	○		15

<p>第2章 物質の変化と平衡 第4章 化学平衡</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可逆反応，化学平衡および化学平衡の移動を理解させる。 水のイオン積，pH，弱酸，弱塩基の電離平衡，溶解度積について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡になる典型的な反応について，実証的・論理的に分析し，科学的に考えることができる力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡などの複雑なしくみがあることを，意欲的に探究・考察しようとする態度を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可逆反応や化学平衡の移動，水のイオン積，pH，弱酸，弱塩基の電離平衡，溶解度積などについて理解している。 化学平衡に関する観察，実験などを行い，その操作や記録などの技能が習得でき，結果から結論を導くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡になる典型的な反応について，実証的・論理的に分析し，科学的に考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡などの複雑なしくみがあることを，意欲的に探究・考察しようとする。 	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第3編 無機物質 第1章 非金属元素</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非金属元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連させ理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質の性質や反応などについて，周期表と関連づけて考察することができる力を養う。 日常生活と関わりの深い無機物質について，観察実験を通して，規則性を見出し，さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる力を養う。 無機物質と化学工業との関係をさまざまな視点で捉え，科学的に考察，判断できる力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする態度を養う。また，観察・実験を行い探究しようとする態度を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非金属元素の単体・化合物の性質や反応について，周期表と関連づけながら理解し，知識を身につけている。 無機物質の性質や反応について，観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに，実験器具の選定や扱い方が身についている。 観察，実験過程や結果から生じる問題や発見事項について，自ら考えを導き出して，新しい課題を設定することができる。 無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質の性質や反応などについて，周期表と関連づけて考察することができる。 日常生活と関わりの深い無機物質について，観察実験を通して，規則性を見出し，さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる。 無機物質と化学工業との関係をさまざまな視点で捉え，科学的に考察，判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究しようとする。 	○	○	○	21
<p>定期考査</p>			○	○		1

3 学 期	<p>第3編 無機物質</p> <p>第2章 金属元素 (I) -典型元素-</p> <p>第3章 金属元素 (II) -遷移元素-</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる力を養う。 無機物質と化学工業との関係をさまざまな視点で捉え、科学的に考察、判断できる力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究したりしようとする態度を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、振り返り、課題提出 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・授業スライド・ワーク <p>一人1台端末の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットによる資料の配布 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解し、知識を身につけている。 典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。 無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解し、その知識を応用することができる。 無機物質の性質や反応について、観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 観察、実験過程や結果から生じる問題や発見事項について、自ら考えを導き出して、新しい課題を設定することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる。 無機物質と化学工業との関係をさまざまな視点で捉え、科学的に考察、判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究したりしようとする。 	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 105

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理

教科： 理科 科目： 物理 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

使用教科書： （ 物理709「高等学校 物理」 第一学習社、「新課程版 セミナー物理基礎+物理」 第一学習社 ）

教科 理科

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

の目標：

自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。
 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもつて観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を身につける。
 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもつたり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を身につける。

科目 物理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、物理の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	物理的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身につける。	物理的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節 平面運動と放物運動 ①平面運動 ②放物運動 【知識・技能】 ・変位や速度、加速度などについての基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・速度の合成・分解や相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を導くことができる。 ・アルミニウム箔のカップを落下させたときのようなすから、空気抵抗の大きさを実感し、終端速度と質量との関係を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・変位や速度、加速度の違いを理解し、それぞれの関係を式で表すことができる。 ・水平投射、または斜方投射された物体の速度を分解して、それぞれの運動の特徴を説明することができる。 ・空気抵抗を受けて落下する物体について、運動方程式から終端速度と質量との関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平面運動での位置や変位、速度、加速度などを表すベクトルについて、「物理基礎」で学習したベクトルの内容と関連させながら意欲的に理解しようとする。 ・「物理基礎」で学習した等速直線運動や落下運動の式をもとに、水平投射と斜方投射について、定量的に考えようとする。 ・アルミニウム箔のカップが落下するようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・ワーク ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 ・変位や速度、加速度などについての基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・速度の合成・分解や相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を導くことができる。 ・アルミニウム箔のカップを落下させたときのようなすから、空気抵抗の大きさを実感し、終端速度と質量との関係を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・変位や速度、加速度の違いを理解し、それぞれの関係を式で表すことができる。 ・水平投射、または斜方投射された物体の速度を分解して、それぞれの運動の特徴を説明することができる。 ・空気抵抗を受けて落下する物体について、運動方程式から終端速度と質量との関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平面運動での位置や変位、速度、加速度などを表すベクトルについて、「物理基礎」で学習したベクトルの内容と関連させながら意欲的に理解しようとする。 ・「物理基礎」で学習した等速直線運動や落下運動の式をもとに、水平投射と斜方投射について、定量的に考えようとする。 ・アルミニウム箔のカップが落下するようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	7
第2節 剛体のつりあい ①剛体にはたらく力とその合力 ②剛体の重心とつりあい 【知識・技能】 ・バットのひねりあいを通して、力のモーメントの大きさは、力の大きさとうでの長さに関する関係を理解する。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・平行でない2力、平行な2力の違いを理解し、それぞれ適切に力の合成を行うことができる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・ワーク ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 ・バットのひねりあいを通して、力のモーメントの大きさは、力の大きさとうでの長さに関する関係を理解する。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・平行でない2力、平行な2力の違いを理解し、それぞれ適切に力の合成を行うことができる。 ・剛体がつりあうときの力、力のモーメントの関係をそれぞれ確認し、剛体の重心を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ばねばかりとおもりを用いた実験から、剛体がつりあう条件を見出すことができる。				

	<ul style="list-style-type: none"> 剛体がつりあうときの力、力のモーメントの関係をそれぞれ確認し、剛体の重心を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ばねばかりとおもりを用いた実験から、剛体がつりあう条件を見出すことができる。 剛体がつりあう条件について、式を用いて考えることができる。 力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 物体を傾けたときに転倒する条件について、力のモーメントのつりあいから調べることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 剛体がつりあいの状態にあるときの条件を予想し、主体的に実験に取り組んでいる。 質点と剛体の違いを踏まえ、剛体にはたらく力のはたらきについて意欲的に考察しようとする。 重心を表す式を利用して、さまざまな形状の剛体で重心の位置を調べようとする。 日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 剛体がつりあう条件について、式を用いて考えることができる。 力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 物体を傾けたときに転倒する条件について、力のモーメントのつりあいから調べることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 剛体がつりあいの状態にあるときの条件を予想し、主体的に実験に取り組んでいる。 質点と剛体の違いを踏まえ、剛体にはたらく力のはたらきについて意欲的に考察しようとする。 重心を表す式を利用して、さまざまな形状の剛体で重心の位置を調べようとする。 日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
1 学 期	<p>第3節 運動量の保存</p> <p>①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積の物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 F-tグラフから力積、力、衝突時間の関係を導くことができる。 運動量保存の法則と反発係数の式を用いて、さまざまな衝突における速度や運動量などを計算することができる。 反発係数の値に応じて、衝突による力学的エネルギーの変化を計算することができる。 テニスのボールやピンポン球などを用いて、はね上がった高さを測定することで、床との間の反発係数を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量がベクトルであることを理解し、運動量の変化と力積との関係について説明することができる。 F-tグラフから物体が受ける力積の大きさや、平均の力を的確に読み取ることができる。 作用・反作用の法則を用いて、物体が衝突や分裂をしたときの運動量保存の法則を考察することができる。 連結した2台の台車を分裂させたときの運動の様子から、運動量が保存されることを考察することができる。 反発係数を理解し、衝突における力学的エネルギーの変化を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量の意味について、キャッチボールやボウリングなどの身近な例をもとに理解しようとする。 運動量の変化と力積との関係を用い 	<p>・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材 教科書・授業プリント・ワーク</p> <p>・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積の物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 F-tグラフから力積、力、衝突時間の関係を導くことができる。 運動量保存の法則と反発係数の式を用いて、さまざまな衝突における速度や運動量などを計算することができる。 反発係数の値に応じて、衝突による力学的エネルギーの変化を計算することができる。 テニスのボールやピンポン球などを用いて、はね上がった高さを測定することで、床との間の反発係数を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量がベクトルであることを理解し、運動量の変化と力積との関係について説明することができる。 F-tグラフから物体が受ける力積の大きさや、平均の力を的確に読み取ることができる。 作用・反作用の法則を用いて、物体が衝突や分裂をしたときの運動量保存の法則を考察することができる。 連結した2台の台車を分裂させたときの運動の様子から、運動量が保存されることを考察することができる。 反発係数を理解し、衝突における力学的エネルギーの変化を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量の意味について、キャッチボールやボウリングなどの身近な例をもとに理解しようとする。 運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を意欲的に導出しようとする。 力学台車を用いた実験に主体的に取り組む、運動量保存の法則の式を用いて、物体の合体や分裂について、考察しようとする。 ボールが跳ね返るときのようにすに関心をもち、その現象を物理的に考えようとする。 	○	○	○	9

<p>て、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を意欲的に導出しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力学台車を用いた実験に主体的に取り組み、運動量保存の法則の式を用いて、物体の合体や分裂について、考察しようとする。 ・ ボールが跳ね返るときのようすに関心を持ち、その現象を物理的に考えようとする。 						
<p>第4節 円運動と単振動</p> <p>①円運動 探究2 等速円運動の角速度 ②慣性力と遠心力 ③単振動 ④万有引力による運動</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 等速円運動をする物体の速度、角速度、加速度、向心力などの定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・ 観測者が非慣性系にあるとき、慣性力がはたらくことを理解し、その大きさを求めることができる。 ・ 単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・ 単振り子の周期を測定し、その値が単振り子の長さだけで決まることを導くことができる。 ・ 人工衛星などの物体の円運動について運動方程式を立て、各物理量を計算で求めることができる。 ・ 万有引力による位置エネルギーを求め、物体の力学的エネルギーを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 等速円運動をさせたときの水滴の飛び散る向きから、円運動における速度の向きを考えることができる。 ・ 向心力の意味を理解し、等速円運動する物体にはたらく力を的確に図示することができる。 ・ 観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・ 等速円運動と比較することによって、単振動の変位や速度などの式を導くことができる。 ・ 単振動する物体のようすを、グラフを用いて説明することができる。 ・ ケプラーの法則を用いて、万有引力の法則を導いた過程について理解し、重力との関係を式で表すことができる。 ・ 万有引力がする仕事との関係をもとに、万有引力による位置エネルギーの式を導くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 角速度、周期、回転数などの関係式を、自ら進んで導出しようとする。 ・ 等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・ 遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意欲的に考えようとする。 ・ 単振動における変位、速度などの式を意欲的に導出しようとする。 ・ ケプラーの法則、万有引力の法則について学習し、万有引力と重力の関係を自ら進んで考えようとする。 ・ 万有引力を受けて運動する物体の力学的エネルギーについて、意欲的に考えようとする。 ・ 計算機を用いた、ケプラーの第3法則の確認実験に積極的に取り組んでいる。 	<p>・指導事項</p> <p>基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材</p> <p>教科書・授業プリント・ワーク</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>タブレットによる参考資料の配布</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 等速円運動をする物体の速度、角速度、加速度、向心力などの定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・ 観測者が非慣性系にあるとき、慣性力がはたらくことを理解し、その大きさを求めることができる。 ・ 単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・ 単振り子の周期を測定し、その値が単振り子の長さだけで決まることを導くことができる。 ・ 人工衛星などの物体の円運動について運動方程式を立て、各物理量を計算で求めることができる。 ・ 万有引力による位置エネルギーを求め、物体の力学的エネルギーを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 等速円運動をさせたときの水滴の飛び散る向きから、円運動における速度の向きを考えることができる。 ・ 向心力の意味を理解し、等速円運動する物体にはたらく力を的確に図示することができる。 ・ 観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・ 等速円運動と比較することによって、単振動の変位や速度などの式を導くことができる。 ・ 単振動する物体のようすを、グラフを用いて説明することができる。 ・ ケプラーの法則を用いて、万有引力の法則を導いた過程について理解し、重力との関係を式で表すことができる。 ・ 万有引力がする仕事との関係をもとに、万有引力による位置エネルギーの式を導くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 角速度、周期、回転数などの関係式を、自ら進んで導出しようとする。 ・ 等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・ 遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意欲的に考えようとする。 ・ 単振動における変位、速度などの式を意欲的に導出しようとする。 ・ ケプラーの法則、万有引力の法則について学習し、万有引力と重力の関係を自ら進んで考えようとする。 ・ 万有引力を受けて運動する物体の力学的エネルギーについて、意欲的に考えようとする。 ・ 計算機を用いた、ケプラーの第3法則の確認実験に積極的に取り組んでいる。 	○	○	○	9

<p>二期</p>						
	<p>第1節 波の性質 ①正弦波 ②波の伝わり方</p> <p>【知識・技能】 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・重なりあった波の作図などを通して、定常波ができる条件を理解している。 ・水面波の干渉の条件について、式を用いて理解する。 ・水波投影装置を用いて、平面波の反射、屈折のようすを観察し、反射の法則、屈折の法則を定性的に調べることができる。 ・波の回折は、すき間の大きさや波長によって違いが生じることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・正弦波の波形と波の式を結びつけて考えることができる。 ・$y-x$グラフ、$y-t$グラフから、振幅や周期、波長などの物理量を読み取ることができる。 ・$y-x$グラフ、$y-t$グラフの関係と違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。 ・ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射や屈折を考え、説明することができる。 ・平面波の回折のしくみを考え、大きく回折する条件について説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「物理基礎」で学習した内容をもとに、正弦波の式を意欲的に導出しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 ・ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射・屈折における法則性を考えようとする。</p>	<p>・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・ワーク ・一人1台端末の活用等 タブレットによる参考資料の配布</p>	<p>【知識・技能】 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・重なりあった波の作図などを通して、定常波ができる条件を理解している。 ・水面波の干渉の条件について、式を用いて理解する。 ・水波投影装置を用いて、平面波の反射、屈折のようすを観察し、反射の法則、屈折の法則を定性的に調べることができる。 ・波の回折は、すき間の大きさや波長によって違いが生じることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・正弦波の波形と波の式を結びつけて考えることができる。 ・$y-x$グラフ、$y-t$グラフから、振幅や周期、波長などの物理量を読み取ることができる。 ・$y-x$グラフ、$y-t$グラフの関係と違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。 ・ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射や屈折を考え、説明することができる。 ・平面波の回折のしくみを考え、大きく回折する条件について説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「物理基礎」で学習した内容をもとに、正弦波の式を意欲的に導出しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 ・ホイヘンスの原理を用いて、平面波の反射・屈折における法則性を考えようとする。</p>	○	○	○
定期考査				○	○	1
	<p>第2節 音波 ①音の伝わり方 ②ドップラー効果</p> <p>【知識・技能】 ・第1節で学習した反射の法則や屈折の法則、波の干渉条件などを、音波に適用して理解する。 ・低周波発振器を利用して、音波が干渉するようすを調べることができる。 ・音源や観測者が動く場合の音波の波長や振動数の変化について、式を用いて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・ワーク ・一人1台端末の活用等 タブレットによる参考資料の配布</p>	<p>【知識・技能】 ・第1節で学習した反射の法則や屈折の法則、波の干渉条件などを、音波に適用して理解する。 ・低周波発振器を利用して、音波が干渉するようすを調べることができる。 ・音源や観測者が動く場合の音波の波長や振動数の変化について、式を用いて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・音が波であることを踏まえ、反射や屈折、回折などの音波の性質を考えることができる。 ・クインケ管を用いた探究などを通して、干渉のようすから音速および音波の波長を測定することができる。 ・音波の伝わる速さが音源の速度に関係しないこ</p>			

<p>・音が波であることを踏まえ、反射や屈折、回折などの音波の性質を考えることができる。</p> <p>・クインケ管を用いた探究などを通して、干渉のようすから音速および音波の波長を測定することができる。</p> <p>・音波の伝わる速さが音源の速度に関係しないことから、ドップラー効果によって変化する波長や振動数を導出することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・音が伝わるようすに関心を持ち、音波の反射・屈折・回折・干渉について考えようとする。</p> <p>・クインケ管を用いた探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。</p> <p>・小型の防犯ブザーをキャッチボールして、音の高さが変化することを積極的に確認しようとしている。</p> <p>・身近な現象と結びつけてドップラー効果を理解し、波長や振動数の変化を物理学的にとらえようとする。</p>		<p>とから、ドップラー効果によって変化する波長や振動数を導出することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・音が伝わるようすに関心を持ち、音波の反射・屈折・回折・干渉について考えようとする。</p> <p>・クインケ管を用いた探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。</p> <p>・小型の防犯ブザーをキャッチボールして、音の高さが変化することを積極的に確認しようとしている。</p> <p>・身近な現象と結びつけてドップラー効果を理解し、波長や振動数の変化を物理学的にとらえようとする。</p>	○	○	○	9
<p>第3節 光波</p> <p>①光の性質</p> <p>②レンズと鏡</p> <p>③光の回折と干渉</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・光が波の一種であり、波長の大きさなどによって分類されることを知る。</p> <p>・光の速さを把握し、反射の法則、屈折の法則の式を理解する。</p> <p>・光の分散、散乱、偏光など、波としての光の性質を理解する。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡のそれぞれの性質を知る。</p> <p>・レンズの式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、レンズの一般的な特徴を理解する。</p> <p>・球面鏡の式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、球面鏡の一般的な特徴を理解する。</p> <p>・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・フィゾーの実験の原理を理解し、光速の導出方法を説明することができる。</p> <p>・光が波であることを踏まえ、光の反射・屈折などの性質を考察できる。</p> <p>・直方体のガラスと針を利用して、ガラスの屈折率を測定することができる。</p> <p>・光の波長と屈折率の関係を理解し、光の分散、散乱などの性質を考察できる。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡の基本的な性質を学習し、光の進み方、像のできる条件などを説明できる。</p> <p>・ヤングの実験、回折格子による光の干渉を学習し、薄膜、くさび形空気層などによる光の干渉条件を導くことができる。</p> <p>・レーザーポイントと二重スリットを用いた光の干渉に関する探究などを通して、レーザー光の波長と干渉縞の間隔との関係を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・光について関心を持ち、身のまわりの事象や現象と結びつけ、波としてどのような性質をもつかを理解しようとする。</p> <p>・虹のできるしくみや、青空、夕陽の色の見え方について関心を持ち、光と色の関係を考えようとする。</p> <p>・レンズを通したものの見え方に興味を持ち、物理学的にとらえようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出</p> <p>・教材</p> <p>教科書・授業プリント・ワーク</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>タブレットによる参考資料の配布</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・光が波の一種であり、波長の大きさなどによって分類されることを知る。</p> <p>・光の速さを把握し、反射の法則、屈折の法則の式を理解する。</p> <p>・光の分散、散乱、偏光など、波としての光の性質を理解する。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡のそれぞれの性質を知る。</p> <p>・レンズの式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、レンズの一般的な特徴を理解する。</p> <p>・球面鏡の式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、球面鏡の一般的な特徴を理解する。</p> <p>・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・フィゾーの実験の原理を理解し、光速の導出方法を説明することができる。</p> <p>・光が波であることを踏まえ、光の反射・屈折などの性質を考察できる。</p> <p>・直方体のガラスと針を利用して、ガラスの屈折率を測定することができる。</p> <p>・光の波長と屈折率の関係を理解し、光の分散、散乱などの性質を考察できる。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡の基本的な性質を学習し、光の進み方、像のできる条件などを説明できる。</p> <p>・ヤングの実験、回折格子による光の干渉を学習し、薄膜、くさび形空気層などによる光の干渉条件を導くことができる。</p> <p>・レーザーポイントと二重スリットを用いた光の干渉に関する探究などを通して、レーザー光の波長と干渉縞の間隔との関係を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・光について関心を持ち、身のまわりの事象や現象と結びつけ、波としてどのような性質をもつかを理解しようとする。</p> <p>・虹のできるしくみや、青空、夕陽の色の見え方について関心を持ち、光と色の関係を考えようとする。</p> <p>・レンズを通したものの見え方に興味を持ち、物理学的にとらえようとしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・光が波の一種であり、波長の大きさなどによって分類されることを知る。</p> <p>・光の速さを把握し、反射の法則、屈折の法則の式を理解する。</p> <p>・光の分散、散乱、偏光など、波としての光の性質を理解する。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡のそれぞれの性質を知る。</p> <p>・レンズの式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、レンズの一般的な特徴を理解する。</p> <p>・球面鏡の式を理解し、実像ができる条件、虚像ができる条件など、球面鏡の一般的な特徴を理解する。</p> <p>・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・フィゾーの実験の原理を理解し、光速の導出方法を説明することができる。</p> <p>・光が波であることを踏まえ、光の反射・屈折などの性質を考察できる。</p> <p>・直方体のガラスと針を利用して、ガラスの屈折率を測定することができる。</p> <p>・光の波長と屈折率の関係を理解し、光の分散、散乱などの性質を考察できる。</p> <p>・凸レンズや凹レンズ、凸面鏡や凹面鏡の基本的な性質を学習し、光の進み方、像のできる条件などを説明できる。</p> <p>・ヤングの実験、回折格子による光の干渉を学習し、薄膜、くさび形空気層などによる光の干渉条件を導くことができる。</p> <p>・レーザーポイントと二重スリットを用いた光の干渉に関する探究などを通して、レーザー光の波長と干渉縞の間隔との関係を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・光について関心を持ち、身のまわりの事象や現象と結びつけ、波としてどのような性質をもつかを理解しようとする。</p> <p>・虹のできるしくみや、青空、夕陽の色の見え方について関心を持ち、光と色の関係を考えようとする。</p> <p>・レンズを通したものの見え方に興味を持ち、物理学的にとらえようとしている。</p> <p>・光の干渉を利用して、光の波長を求める方法について意欲的に考えようとする。</p>	○	○	○	12

<p>・ 光の干渉を利用して、光の波長を求める方法について意欲的に考えようとする。</p>						
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第1節 電場と電位 ①静電気力 ②電場 ③電位 ④コンデンサー</p> <p>【知識・技能】 ・ 静電気力に関するクーロンの法則を理解し、さまざまな条件で電場の強さを計算できる。 ・ 電位を計算し、等電位面と電気力線の関係を理解する。 ・ 静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位の様子を理解する。 ・ アルミニウム箔とプラスチック製のコップを利用してコンデンサーを作製し、コンデンサーの原理を理解する。 ・ コンデンサーにおける基本的な公式を理解し、さまざまな条件における電気容量やたくわえられる電荷を求めることができる。 ・ 静電エネルギーの式の導出過程を理解し、エネルギーを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 静電誘導、誘電分極のしくみを説明することができる。 ・ カラーパウダーとサラダ油を利用した、電気力線の観察実験を通し、電気力線の性質を考察する。 ・ 電場と電気力線の関係を理解し、帯電体に入り出す電気力線を定量的に考えることができる。 ・ 直流電源装置と黒色画用紙を用いた探究を通して、得られた等電位線から電気力線の様子を图示することができる。 ・ 帯電した金属板間の導体や不導体について、電場や電位の様子をグラフに表すことができる。 ・ コンデンサーにたくわえられる電気量と、極板の面積、極板間の距離との関係を導くことができる。 ・ コンデンサーの極板間の電場や電位差など、各量について、誘電体による変化を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、静電気力、電場、電気力線の性質について意欲的に考えようとする。 ・ 電場や電位の関係、等電位面と電気力線の関係、静電誘導、誘電分極の現象などを自ら進んで理解しようとする。 ・ コンデンサーの製作に主体的に取り組む、コンデンサーの原理や、誘電体によって変化するコンデンサーの電気</p> <p>3 学 期</p>	<p>・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・ワーク ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布</p>	<p>【知識・技能】 ・ 静電気力に関するクーロンの法則を理解し、さまざまな条件で電場の強さを計算できる。 ・ 電位を計算し、等電位面と電気力線の関係を理解する。 ・ 静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位の様子を理解する。 ・ アルミニウム箔とプラスチック製のコップを利用してコンデンサーを作製し、コンデンサーの原理を理解する。 ・ コンデンサーにおける基本的な公式を理解し、さまざまな条件における電気容量やたくわえられる電荷を求めることができる。 ・ 静電エネルギーの式の導出過程を理解し、エネルギーを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 静電誘導、誘電分極のしくみを説明することができる。 ・ カラーパウダーとサラダ油を利用した、電気力線の観察実験を通し、電気力線の性質を考察する。 ・ 電場と電気力線の関係を理解し、帯電体に入り出す電気力線を定量的に考えることができる。 ・ 直流電源装置と黒色画用紙を用いた探究を通して、得られた等電位線から電気力線の様子を图示することができる。 ・ 帯電した金属板間の導体や不導体について、電場や電位の様子をグラフに表すことができる。 ・ コンデンサーにたくわえられる電気量と、極板の面積、極板間の距離との関係を導くことができる。 ・ コンデンサーの極板間の電場や電位差など、各量について、誘電体による変化を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 「物理基礎」で学習した内容を踏まえ、静電気力、電場、電気力線の性質について意欲的に考えようとする。 ・ 電場や電位の関係、等電位面と電気力線の関係、静電誘導、誘電分極の現象などを自ら進んで理解しようとする。 ・ コンデンサーの製作に主体的に取り組む、コンデンサーの原理や、誘電体によって変化するコンデンサーの電気</p>	○	○	○	18

<p>容量などについて、自ら進んで考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池のする仕事と静電エネルギーの関係について、意欲的に考える。 						
定期考査			○	○		1
						合計 105

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A組~ H組

使用教科書: (生基704「高校生物基礎」 実教出版)

教科 理科

の目標:

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象やその法則性を理解し、科学的に探究するための実験等の基本操作を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって実験を行い、科学的に分析し表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

科目 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うこととおして、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究している。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 生物の特徴</p> <p>1節 生物の多様性と共通性</p> <p>【知識及び技能】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出し理解させる。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来するを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 ・顕微鏡、ミクロメータの使い方 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。 ・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとしている。 ・原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとしている。 	○	○	○	8
<p>2節 生物とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 ・「わかめ」や「おしよ」の観察 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できている。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとしている。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとしている。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとしている。 	○	○	○	11
<p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>1節 遺伝情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】 DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解する。とともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・DNA複製の複製 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。 	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
<p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>1節 遺伝情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内で常に発現しているわけではないことを理解させる。 ・DNAの抽出実験 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現するを理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。 	○	○	○	13
<p>2節 体内環境の維持のしくみ</p> <p>【知識及び技能】 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。</p> <p>体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体内での情報の伝達からからだの調節に関係していることを見出し理解させる。 ・体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出し理解させる。 ・ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 ・実験により得られたデータを比較・分析するにより、結論を導き出すことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・からだの調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出し理解することができる。 				

	<p>生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<p>・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達から調節に関係していることを見出し、理解しようとしている。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとしている。</p>	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1	
3学期	<p>3節 免疫 【知識及び技能】 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見い出して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見い出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。</p>	<p>・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための、異物を認識し、排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ・ヒトの身近な免疫疾患について理解させる。 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができている。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができている。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見い出して理解する。また、生物の種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解する。生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見い出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。</p>	<p>・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動するを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。 ・インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができている。 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができている。 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できている。 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 「ステップアップ高校スポーツ2024」 （大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元：体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 リレー指導 脚力強化トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>短距離走・リレーでは、中間走へのつながりを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>単元：水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>単元：水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 泳法指導 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元：球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 サッカー ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元：陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>・指導事項 長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>				

3 学 期	<p>組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>		陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	6
	<p>単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元：体育理論 【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
							合計

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（『現代高等保健体育』（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元：安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 個人及び社会生活において、様々な事故や災害が発生している。安全な社会を形成するには、事故等の防止に加え、発生に伴う傷害などを軽減することが重要である。事故等の発生には人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ、個人の取組に加えて社会的な取組が求められることを理解するとともに、危険の予測やその回避の方法を考えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 安全な社会生活、応急手当 ・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>単元：生涯を通じる健康</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 生涯の各段階における健康、労働と健康 ・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>単元：健康を支える健康づくり</p> <p>【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあり、汚染の防止及び改善の対策をとる必要がある。食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して具絵k津法を思考し判断するとともに、それらを表現するこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 環境と健康、食品と健康、保健・医療人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあり、汚染の防止及び改善の対策をとる必要がある。食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。 ・教材 教科書「現代高等保健体育」 パワーポイントの活用 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることに、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

791	<p>とができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>						
	定期考査			○	○	○	1
							合計 35

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ Landmark English Communication II ）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 文章を読むのに必要な文法知識を獲得する。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉える。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答える。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文を読むのに必要な文構造を理解できる。	様々な文章を読み、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができる。	多様な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 （ ） （ ）	話 （ ） （ ）	書					
Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan ●北欧女子が見つけた日本の不思議	（聞くこと）日本の地域における驚くべきことについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 （読むこと）海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、補語になる分詞のSVOC（Cが分詞）と補語になる分詞のSVC（Cが分詞）の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 （話すこと【やり取り】）自分が驚いた日本文化について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 （話すこと【発表】）日本の看板や標識が抱える問題点や、その改善方法について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝える。 （書くこと）日本の看板や標識が抱える問題点や、その改善方法について、情報や考えを論理的に注意して文章を書いて伝える。	○	○	○	○	○		○	○	○	16
Lesson 2 A Message from Emperor Penguins ●南極で暮らすコウテイペンギンからのメッセージ。	（聞くこと）ペンギンの生態について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 （読むこと）コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了形、比較を使用した構文の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 （話すこと【やり取り】）自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 （話すこと【発表】）気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝える。 （書くこと）自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて、情報や自分の考えを論理的に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	○	○	○	○	○		○	○	○	16
定期考査								○	○		1
Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle ●世界を驚かせた新幹線清掃チーム TESSEI	（聞くこと）日本が誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 （読むこと）新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、強調のための倒置や不定詞と共に使われる形式目的語のit、節と共に使われる形式目的語のitの意味や構造を理解する。 （話すこと【やり取り】）日本が誇れることについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 （話すこと【発表】）先進的な日本の技術や製品について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝える。 （書くこと）日本が誇れることについて、情報や考えを論理的に注意して文章で書いて伝える。	○	○	○	○	○		○	○	○	16
Lesson 4 Seeds for the Future ●絶滅に瀕するタネを守るために活動する高校生への取り組み	（聞くこと）F1種の利点について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 （読むこと）タネの保存のための取り組みについて書かれた文章を読み、付帯状況を表すwith + o + aや使役動詞の意味や構造を把握する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 （話すこと【やり取り】）固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 （話すこと【発表】）固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝える。 （書くこと）日本の食料自給率について、情報や自分の考えを論理的に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	○	○	○	○	○		○	○	○	16
Lesson 5 Language Change over Time ●時代とともに変化する言葉を持つ意味	（聞くこと）英語からの借用語のうち、本来の意味とは異なる意味で日本語として使われているものについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 （読むこと）時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、感想・意見・理由などを導く疑問詞で始まる疑問文、同格のthatの意味や構造を理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 （話すこと【やり取り】）日本語として使用されている英語の中から単語を一つ選び、その単語の元々の意味と日本語の使われ方について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 （話すこと【発表】）英語または日本語にける言葉の変化の事例について、情報や自分の考えを論理的に注意して詳しく話して伝える。 （書くこと）英語または日本語における言葉の変化の事例について、情報や考えを論理的に注意して文章で詳しく書いて伝える。	○	○	○	○	○		○	○	○	16
定期考査								○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (be English Logic and Expression II clear)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
A 単元 Lesson1 Your Interests 興味のあることについて話す	<ul style="list-style-type: none"> ・時制を正しく用いて表現することができる。 ・興味のあることについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 						<p>【題材】 趣味・クラブ活動 【題材に関するタスク】 ・趣味やクラブ活動に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・趣味やクラブ活動について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・動詞の時制について学んで理解する。 ・時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。</p>				6
B 単元 Lesson 2 Your Daily Life 日常生活を紹介する	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 						<p>【題材】 日常生活 【題材に関するタスク】 ・日常生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日常生活について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞（名詞用法）・動名詞・名詞節について学んで理解する。 ・伝えたいことに応じて、不定詞・動名詞・名詞節を正しく使う。</p>				6
定期考査											1
C 単元 Lesson 3 Your School Life 学校生活について話す	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 						<p>【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・学校生活について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・助動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、助動詞を正しく使う。</p>				6
D 単元 Lesson 4 Media Literacy メディアリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。 ・メディアリテラシーについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 						<p>【題材】 ソーシャルメディア 【題材に関するタスク】 ・ソーシャルメディアに関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ソーシャルメディアについて話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・形容詞のはたらきや分詞の形容詞用法について学ん</p>				

1
学
期

									で理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞を用いて文を作る。					6
	E 単元 Lesson 5 Helping Others ボランティア活動	・形容詞を正しく用いて表現することができる。 ・ボランティア活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 ボランティア活動 【題材に関するタスク】 ・ボランティア活動についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ボランティア活動について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな表現を使った形容詞句について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞句を用いて文を作る。					6
	定期考査													1
	F 単元 Lesson 6 Introducing Your Town 地域活性レポート	・関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・地域活性レポートについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 自分の住む町や地域 【題材に関するタスク】 ・自分の住む町や地域についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・自分の住む町や地域について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。 ・関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。					6
	G 単元 Lesson 7 Languages of the World 世界の言語	・副詞を正しく用いて表現することができる。 ・世界の言語について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 世界の言語 【題材に関するタスク】 ・世界の言語についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の言語について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・副詞のはたらきについて学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な副詞を用いて文を作る。					6
	定期考査													1
2 学 期	H 単元 Lesson 8 Imagining the Future 想像力をはたらかせる	・副詞句を正しく用いて表現することができる。 ・未来のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 想像 【題材に関するタスク】 ・想像についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・想像について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞（副詞用法）・分詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて不定詞・分詞を正しく使う。					6
	I 単元 Lesson 9 Happiness and Stress 新幸福・ストレス	・副詞節を正しく用いて表現することができる。 ・幸福・ストレスについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 幸福・ストレス 【題材に関するタスク】 ・幸福・ストレスについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・幸福・ストレスについて話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな意味を表す副詞節について学んで理解す					

									る。 ・伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。						6
	J 単元 Lesson 10 Comparing Countries 世界のデータを比較する	・比較表現を正しく用いて表現することができる。 ・世界の国々について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 データの比較 【題材に関するタスク】 ・各国のデータ比較についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・各国のデータ比較について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・原級・比較級・最上級を使う比較について学んで理解する。 ・原級・比較級・最上級を用いて文を作る。						6
	定期考査														1
3 学 期	K 単元 Lesson 11 Cultural Diversity 文化の多様性	・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・文化の多様性について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 文化の多様性 【題材に関するタスク】 ・文化の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・文化の多様性について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・仮定法について学んで理解する。 ・仮定法の表現を用いて文を作る。						6
	L 単元 Lesson 12 Japanese Customs 日本の文化	・that節や関係などを正しく用いて表現することができる。 ・日本の文化について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							【題材】 日本の文化 【題材に関するタスク】 ・日本の文化についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日本の文化について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法について学び理解する。 ・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法を用いて文を作る。						5
	定期考査														1

合計
70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～

H 組

使用教科書： （ 実教出版「図説 家庭基礎」 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A単元「青年期の自立と家族・家庭」</p> <p>【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルにのっとり生活設計について考える。 生活にはどのような場面で金銭が必要となるか考える。 青年期の生き方について自立の観点から学習する。 自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 生活を支える労働について学ぶ。 将来の職業選択について考える。 グラフを見ながら、生活時間について考え、男女の違いについて比較する。 これからの家庭生活や社会のあり方について、どのような改善が必要か考え、話し合う。 さまざまな家族形態について学ぶ。 世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学ぶ。 	<p>【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>B 単元「衣生活と健康」</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解するとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようになる。</p> <p>・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解するとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人と衣服のかかわりや、衣服の機能について学習する。 快適で安全な衣服について学習する。 繊維の種類と特徴、糸や布について学習する。 衣類素材の性能や加工・改善について学習する。 衣服の入手から処分までの流れを学習する。 衣服の表示を見ながら、衣服購入のポイントについて考える。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学ぶ。 家庭での洗濯方法・保管の方法などについて学ぶ。 衣生活と資源・環境とのかかわり、また、環境に配慮した衣生活について学習する。 ファストファッションについて、事例を挙げながら話し合い、商品選択の際に心がけることを考える。 	<p>【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。</p> <p>・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>C 単元「ホームプロジェクト」</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。 生活上の課題を見いだし、その解決を目指して科学的に探究する。 生活上の課題に対する成果と課題をまとめて発表し、活動全体を振り返る。 	<p>【知識・技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする</p>				4

	<p>のたつ、取組むて改善したつて、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>										
	定期考査							○	○	1	
2 学 期	<p>D単元「食生活と健康」 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解するとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べることで健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・5大栄養素と水について学習し、からだのつながりについて考える。 ・炭水化物の働きと、炭水化物を多く含む食品について学ぶ。 ・脂質の働きと、脂質を多く含む食品について学ぶ。 ・たんぱく質の働きと、たんぱく質を多く含む食品について学ぶ。 ・ビタミンの働きと、ビタミンを多く含む食品について学ぶ。 ・ミネラルの働きと、ミネラルを多く含む食品について学ぶ。 ・味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料、さまざまな加工食品について学ぶ。 ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について学ぶ。 ・食中毒の種類を学び、衛生的な管理に結びつける。また、食品添加物の使用の目的や安全性についても学ぶ。 ・調理の一連の流れを実践し、その理論やコツを学習する。 	<p>【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>					○	○	○	12
	<p>E単元「共生社会と福祉」 【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について学習する。 ・これからの介護と課題について、事例を用いて考える。 ・福祉、ソーシャル・インクルージョンの考え方を学ぶ。 ・自助、互助、共助、公助の状況に応じたバランスを考える。 ・社会保障制度とその目的について学ぶ。 ・地域福祉の担い手を考え、助け合うことについて学ぶ。 ・ボランティア活動の必要性や意欲について、話し合いを通じて考える。 	<p>【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>					○	○	○	4
	<p>F単元「子どもの生活と保育」 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながっていることを知り、育てる力について学ぶ。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・発達の順序や、子どもの世界観について学ぶ。 ・人の発達において、保育や人のかかわりがいかに重要であるかを、事例をもとに考える。 ・子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすのかを考える。 ・子どもを生み育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・これからの親子関係について、事例をもとに考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。 ・仕事と子育てが両立できる環境について考える。 	<p>【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>					○	○	○	11
定期考査								○	○	1	
	<p>G単元「住生活と住環境」 【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防犯（火の安全や環境に配慮）を住民の機能に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能や文化、生活様式について学習する。 ・基本的な平面図の読み取り方を学習する。 	<p>【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に</p>								

